

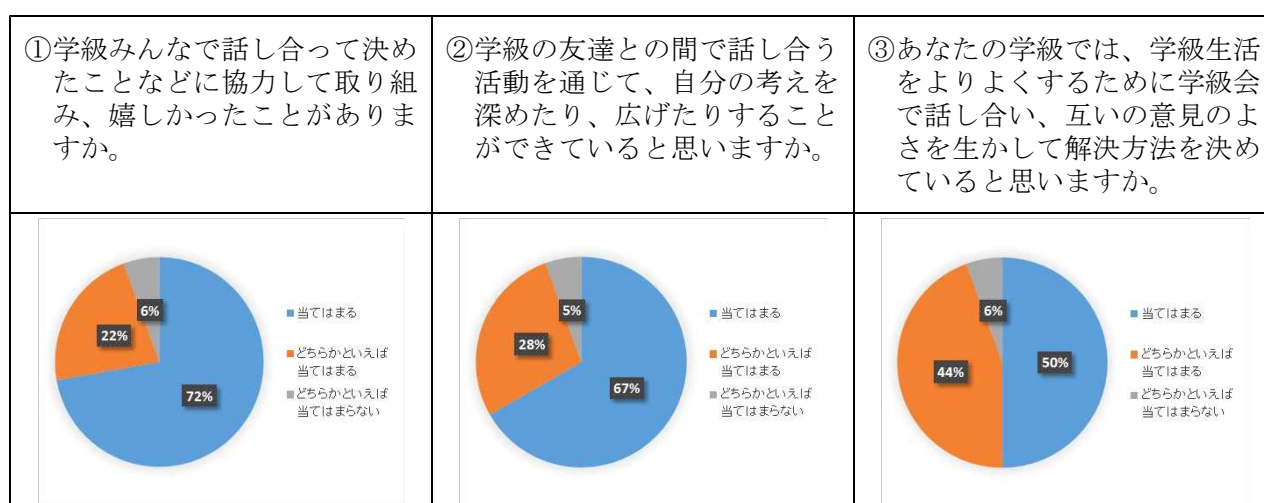
1 議題 「1年生と交流会をしよう」
（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

2 議題について

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく男女仲良く協力して物事に取り組む姿が見られる。また、思いやりがあり、学校や学級のために進んで行動できる子も多い。

平成31年度全国学力・学習状況調査の実施において、本議題に係る内容について抽出した。



以上の①・②の結果より、児童は話し合い活動を通して、みんなで話し合って協力していくことや決まったことを実践していくことへの喜びや楽しさを知っていると考えられる。また、②の結果より、本学級の児童は今までの学級会の積み重ねにより、話し合う活動を通じて、学級の諸問題等の解決のために、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているということがわかる。しかし、③の結果より互いのよさを生かして解決方法を導き出していくことについての自己評価は他に比べて高くない。そこで、活動を振り返る際に、自らの課題や目標を見つけるとともに、友達の考えや行動について考える自己決定の場を設けている。

児童は、自分たちで決めたことを実践していこうとする意欲があり、活動してきたことを生かし、友達と協力しながら自主的に活動に取り組む姿勢が見られる。学級活動については、4月に「学級会オリエンテーション」を行い、学級会の進め方や発表の仕方、話し合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「クラス旗をつくろう」や「陸上記録会おつかれさま会をしよう」などについて話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動を通して、児童はみんなで協力して実践することの楽しさを味わい、学級会の進め方について理解を深めている。また、話し合いの中で友達が心配なことについて自分たちで解決していこうとする児童もいる。しかし、普段の児童の生活の様子や話し合い活動においては、自分の意見を発表することに苦手意識をもっていたり、自分たちで課題を見出そうとする意識が低かったりするという現状がある。そこで、互いを認め合う活動を積み重ねたり、みんなで協力して「できた」「楽しい」「またやりたい」など、達成感を味わったりすることで、自分の意見を気兼ねなく発言できるように継続的に指導していきたい。また、提案理由について「何のためにやるのか」ということを明確にし、事前に学級全体で共有化を図ることで、深まりのある話し合いにしたいと考える。互いの意見を大切に、出された意見を生かし合いながら合意形成していくことで、一人一人

の意見を大切にしたい話し合い活動を進めていく。

(2) 議題選定の理由

本議題は、自分の学級のみならず楽しい集会を行ってきた経験を生かし、他学年とも交流して絆を深めたいという児童の思いから議題として選定された。特に1年生とは、なかよし班（異学年交流）で遊んだり、ペア歯みがきで歯みがきの仕方を教えたりするなど、様々な場面で関わることが多い。しかし、6年生から進んで1年生と関わりをもとうとする意識は低い。そこで、今まで自分たちが経験してきたことをもとに1年生と楽しく活動できる内容や工夫を考え、交流することで、最高学年としての意識を高めることができるようにしたいと考えている。この交流会を通して、相手を思いやる気持ちやみんなで助け合っていくことの大切さを実感し、他者意識を育むことができるようにするとともに、信頼し支え合うよりよい人間関係を築いていけるようにしたい。そのために、1年生担任と密に連携を図り、6年生にとっても1年生にとっても意義のあるものになるよう、それぞれのねらいを明確にしたうえで活動できるようにする。

また、本時では、児童の意見をあらかじめ掲示し、「比べ合う」段階から進めることで話し合いの時間を確保し、多様な意見のよさを生かして話し合いの質的な向上を図る。さらに、自分の考えを学級会ノートにまとめたり、発表の話型を活用したりするなどして、一人一人が自信をもって発言できるようにしたい。

3 第5学年及び第6学年の評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者協働して取り組むことの意義を理解し、合意形成の手順や話し合いの進め方、活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 事前の活動（本時に至るまでの活動の流れ）

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動内容	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿（観点）【評価方法】
9月30日(月) 業間休み	<ul style="list-style-type: none"> ・議題案を確認し、選定する。 ＜提案された議題＞ ・運動会おつかれさま会をしよう ・ハロウィンパーティーをしよう ・1年生と遊ぼう 	<ul style="list-style-type: none"> ・各提案の扱いを明確にし、提案者に伝えられるようにする。 ・議題の選定の理由を明らかにし、出された議題の中から、時期や実践の可能性、話し合いの必要性などを話し合わせて議題を選定する。 	◎よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選定しようとする。 (主体的に取り組む態度) 【提案カード、観察】
10月3日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画を作成をする。(提案理由、め 	<ul style="list-style-type: none"> ・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を 	◎計画委員の役割、交流会に向けた話し合い

昼休み	<p>あて、話合いの柱、決まっていること(条件等)の確認、役割分担など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生にアンケートをとる。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級活動コーナーに掲示する。 	<p>教師が設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いを学級全体の共同の問題になるように、提案理由の練り上げをする。 ・アンケート結果を話合いに反映するように助言する。 	<p>の進行の仕方を理解している。 (知識・技能) 【活動計画、観察】</p>
10月10日(木) 業間休み 昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出された意見から、話合いの見通しがもてるように助言する。 ・話合いの前に、出された意見を掲示することで話合いの見通しがもてるようにする。 	

【学級全員の活動】

日 時	児童の活動内容	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
10月1日(火) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・議題を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会の提案のもと、学級全体で決定する。 	<p>◎学級をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (主体的に取り組む態度)【観察】</p>
10月8日(火) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由、めあて、話合いの柱、決まっていることを知らせる。 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう必要に応じて助言する。 ・話合いのめあてに掲げた具体的な姿を考える場をもち、共通理解を図る。 ・交流会の目的に合った運営の工夫が話し合えるよう助言する。 	<p>◎提案理由に沿った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート】</p>
10月9日(水) 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ノートを受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会で何のために話し合うのか説明し、話合いの意欲を高める。 	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

1年生も6年生も楽しめる会にする内容や工夫について考え、話し合いができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第6回 6年1組 学級会 活動計画		令和元年10月15日(火)	5校時
議 題	1年生と交流会をしよう		
役割分担	司会() ()、黒板記録() ()、 ノート記録()		
提案理由	6年生は1年生とペア学年として、なかよし遊びやペア歯みがきなど、いろいろな活動を一緒に行ってきました。しかし、休み時間などに一緒に過ごした時間が少ないということに気付きました。そこで、交流会を計画し、相手を思いやる気持ちをもって活動し、1年生に喜んでもらえたら、自分たちにとってもよい思い出になり、卒業に向けてこれからも頑張ろうという気持ちになると思い提案しました。		
話し合いのめあて	1年生も6年生も楽しく、絆が深まる会の内容と工夫を考えよう。		
決まっていること	○やる日…10月24日(木)3校時 ○場所…体育館 ○やること…ゲームは2つ		
話し合いの順序	・気を付けること	準 備	
1 はじめの言葉	・大きな声ではっきりと言う。	学級会 ノート	
2 計画委員の紹介	・一人ずつ役割と名前、めあてをはっきり紹介する。		
3 議題の確認	・大きな声ではっきりと言う。		
4 提案理由の確認	・みんなに分かるように、学級会ボードで確認をしながら丁寧に読んで説明する。	学級会 ボード	
5 決まっていること の確認	・時間、場所、気を付けることなどについて確認する。		
6 めあての確認	・司会が言った後、全員で声に出して言う。		
7 先生の話		短 冊	
8 話し合い 話し合うこと① 「何をするか」 (12分間)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に短冊を整理して貼っておき、「比べ合う」から話し合うようにする。 ・提案理由に沿った交流会の内容はどれかを考えてもらう。 ・当日にやるものと準備が必要なものを分けて提示して、話し合う時も意見を整理しながら比べ合う。 ・1年生のアンケート結果をもとに1つ決め、6年生が最高学年として伝えたいことを1つ決める。 ・当日のプログラムを掲示し、決まったものを貼れるようにしておく。 	プログラム	

<p>話し合うこと② 「どんな工夫が必要か」 (15分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当日やるものと準備が必要なものを分けて掲示する。 ・今までの学級会集会活動を思い出しながら、どんな工夫ができるか、どんな係が必要かを考えてもらう。 	<p>学級会 ノート</p>
<p>話し合うこと③ 「どんな係が必要か」 (8分間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの始めに、すでに必要だと分かるものは決定していいか確認する。 	
<p>9 決まったことの発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことをはっきりと丁寧に発表する。 	
<p>10 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の頑張ったところを見付ける。 ・時間があったら、2、3人に発表してもらう。 	
<p>11 先生の話</p>		
<p>12 おわりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと言う。 	

(3) 教師の指導計画

話し合いの順序	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。 	<p>◎友達の見解を参考にしながら折衷案を考えて発言したり、みんなの共感を得られるような改善案を出したりしている。 (思考・判断・表現) 【観察、学級会ノート】</p> <p>◎前回までの話し合いの経験を生かして、合意形</p>
2 計画委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を意識したためあてをもち、紹介に臨めるように事前に指導する。 	
3 議題の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いを深め、学級全員の問題であることが分かるようにする。 	
4 提案理由の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会ボードを活用することで全員が理解し、話し合いの指針となるようにする。 	
5 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・日時や場所については、あらかじめ教師の方で決めておく。 ・事前にプログラムの中に1年生の発表の場を位置づけておく。 	
6 めあての確認		
7 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのめあての絆が深まる会の具体のイメージを再確認し、提案理由に沿った話し合いになるよう助言する。 	
8 話し合い 話し合うこと① 「何をするか」	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合うこと①は「比べ合う」段階から進められるよう、事前に短冊を準備しておき、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。 	
話し合うこと② 「どんな工夫が必要か」	<ul style="list-style-type: none"> ・出されている意見を分類整理して掲示することを助言しておく。 	
話し合うこと③ 「どんな係が必要か」	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を意識した発言や理由が的確な意見を日頃から称賛し、話し合いの際に意識できるように指導しておく。 	

9 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ・少数意見を大切にし、少数意見であっても発言の機会を与えたり、了承をとったりしてから決定したりする。 ・時間を意識して話し合いが行われるようにする。 ・決まったものは気持ちよく賛成できるように伝える。 ・決まったことを自分の言葉でみんなに伝えられるように指導しておく。 	成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。 (知識・技能)【観察】
10 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを振り返り、自己評価するとともに、学級や友達のよかった点についても認められるよう助言する。 	
11 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・集団決定できたことへの称賛、前回からの成長点についての称賛、今後の課題、計画委員へのねぎらい、今後の見通しや実践に向けての意欲付けなどについて簡潔に述べる。 	
12 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば、提案者に今日の話し合いの感想を述べる場を設ける。 	

6 事後の活動

日 時	児童の活動内容	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
10月 16日(水) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを学級会コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、役割分担をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録をもとに、学級会で決まったことの要点をまとめるように計画委員に助言する。 ・必ず一人一役となるように助言する。 	◎合意形成したことをもとにみんなで協力し、進んで交流会の準備に取り組んでいる。 (主体的に取り組む態度)【観察】
10月 17日(木) 23日(水) 昼休み 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに準備をする。 ・帰りの会などで、係ごとに適宜経過報告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係ごとに協力をしながら活動できるようにするとともに、活動の状況を途中で報告し合いながら活動意欲の継続化を図る。 	◎交流会の目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して実践している。 (思考・判断・表現) 【観察、振り返りカード、感想文】
10月 24日(木) 3校時	<ul style="list-style-type: none"> ・「1年生と交流会」 ・交流会終了後、感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の活動を振り返るとともに、学級や友達のよいところについても認められるように助言する。 	